

South Wind

The Newsletter for Japanese Business in Georgia

2005年 6月号 Vol. XIX No. 3

メキシコ・ミッション報告

4月27日から30日にかけて、「在米日系企業によるメキシコ・ビジネス環境視察ミッション」が実施され、ジョージア州からは3社4名が参加しました。

このミッションは、本年4月1日に日本とメキシコの間で日墨経済連携協定(EPA)が発効されたのを機に、ジェットロが企画したもので、ジョージア日本人商工会は協力機関として参画しました。



カナレス・メキシコ経済大臣、西村大使らを囲んで

<米国13州等から70名超の大ミッション>
日墨EPAの発効により、北米に進出している日系企業には、生産ネットワークの拡充や、メキシコ市場をターゲットとした新たなビジネスのチャンスが生まれることが期待されます。今回のミッションは、メキシコのビジネス環境を直に観察することを目的として企画されました。

ミッションの参加者は、米国13州の進出日系企業を中心に50社71名に上り、大規模なものとなりました。

参加企業を所在地別に見ると、米国からは、イリノイ州が21社、ミシガン州が7社、ニューヨーク州が6社、カリフォルニア州が5社、ジョージア州が3社、オハイオ州が2社、テキサス州、モンタナ州、インディアナ州、ケンタッキー州、ウィスコンシン州、コロラド州、ネブラスカ州が各1社。また、メキシコからの現地参加が7社、日本からの参加が1社でした(注：同一企業で複数の州・国からの参加あり)。

近年、自動車関連産業を中心に、米中西部から南東部への生産拠点のシフトが進んでいますが、今回のミッションに多くの在中西部日系企業関係者が参加したことは、南東部を超えてさらにメキシコま

で日系企業の関心が広がっていることを示していると考えられます。

ミッション初日、西村六善在メキシコ日本国大使主催の懇談会が開催されたほか、外務省および在メキシコ日本大使館からのミッション参加者もありました。

ミッションは「自動車部品」と「食品」の2つのグループに別れ、正味3日間の日程で、工場・企業訪問、メキシコ政府要人や業界団体関係者との意見交換などの日程を精力的にこなしました。

<カナレス経済大臣がさらなる日本企業の進出に期待>

ミッション一行は、首都メキシコ・シティのほか、メキシコの工業都市で米国内に近いヌエボレオン州モンテレイ(自動車グループ)、メキシコのほぼ中心に位置するグアナフアート州レオン(食品グループ)を訪問しました。

自動車グループは、自動車工業会(AMIA)および自動車部品工業会(INA)幹部との意見交換会や、メキシコ労務・税務セミナーに出席したほか、メキシコ・シティ近郊のダイムラー・クライスラー・トラック工場や、モンテレイのデンソー自動車部品工場を見学しました。



セミナーでの活発な議論

メキシコ・シティでの滞在先であるホテル・ニコウでは、カナレス・メキシコ経済大臣との意見交換会が開催されました。

カナレス経済大臣は会見の中で、日本および米国で日本企業が生産する自動車部品をもっとメキシコに輸出して欲しい。日本企業がメキシコで生産している自動車を、もっとメキシコ国外に輸出

発行 ジョージア日本人商工会
編集 在アトランタ日本国総領事館
ジョージア日本人商工会
ジェットロ アトランタセンター

目次

- ▶ 記事 1
メキシコ・ミッション報告
- ▶ 進出企業紹介 2
Mirai Enterprises, Inc.
- ▶ ジャパン・フェスト2005
実行委員会紹介 3
- ▶ ゴルフ・コース・レッスン
(第4回) 3
- ▶ 目指せPGAプロ 4
- ▶ 第29回日米南東部会開催概要決定
. 4
- ▶ 「辛口」南部史入門講座 . 5
- ▶ 投稿欄 5
「バラと私」
- ▶ お知らせ&生活情報 . 6
- ▶ 編集後記 6
- ▶ 広告欄 7

して欲しい。日本とメキシコ間の直接投資を拡大して欲しい。個々の日本人ビジネスマンにもっと活躍して欲しいとのメッセージを示しました。

これに答え、塚本団長(ジェットロ副理事長)は、「メキシコは多くの国とFTAを結ぶ開放的、民主的な国家。人口の多さに加え、米国(大市場)、南米(発展的市場)に近い地理的優位性を持つメキシコに、日本企業は大きな関心を持っている。EPA発効後もさらなるビジネスの拡大に向け活動するであろう」と、日本企業にとってのメキシコ経済の魅力を強調しました。

また、「日本企業の中には、メキシコに関心を持ちつつもまだ進出していない企業が多くある。今回の企業訪問や有力者との意見交換を通じて投資の判断をするだろう」と、今後の日本企業のさらなるメキシコ進出に期待を寄せました。

<メキシコの生鮮食品市場、生産現場を見学>

一方、食品グループは、メキシコ・シ

ティでは、中南米最大の中央卸売市場や米系小売のウォルマートの店舗などを訪問、メキシコにおける実際の生鮮食品販売の現場を視察しました。

また、ウサビアガ・メキシコ農牧大臣、全国農牧評議会（CNA）会長等メキシコ農産業の有力者との意見交換会では、メキシコ農産品の日本への輸出の可能性等について、活発な議論が行われました。

さらに食品グループは、レオンで、アスパラガス、ブロッコリー、ニンニク、ニンジン等の生鮮野菜・冷凍野菜の生産を行っている地元工場を見学したほか、鶏肉加工業者、かんきつ類生産者を訪問しました。

野菜工場では、従業員の包丁さばきの良さに、参加者から「米国では安全上の規制が厳しく手袋等が必要となり、これほど上手いかな」と、感心の声があがっていました。

レオンのあるグアナフアート州において、食品グループ一行は、同州の輸出振興機関(COFOCE)によるセミナー及びヒックス州知事との面談を行いました。ヒックス知事は、「今回のミッションは4月に発効した日墨EPAの有効活用を目的とした

意義深いもの。日本は世界的に見ても、メキシコにとって最も重要な市場のひとつである」と述べ、メキシコ農産品の日本への輸出拡大に期待を示しました。

ミッション参加者からは、「グアナフアート州の産品は、品質が向上しており、世界的なレベルで競争してゆくのには全く問題がない」と、同州の農産品の質の良さを高く評価する声が聞かれました。

<メディアでも大きな反響>

今回のミッションでは、メキシコ側有力者との意見交換会の場面等で、多くのメディアが駆けつけ、日本およびメキシコの新聞やテレビのニュース番組で大きく取り上げられました。

とりわけ、メキシコの主要紙は、日墨EPAの発効をふまえ、今回のミッションが実現したことにより、日本からの投資がさらに拡大することに期待を寄せる記事が多く掲載されました。

「日本の投資家がメキシコ市場を調査：自動車、食品分野に特別な関心（4月29日付、エル・フィナンシエロ紙）」、「日本企業がモンテレイ、レオン、メキシコ・シティでパートナーを模索：自動車産業の発展に日本の投資家は関心」（5月2日付、

ラ・ホルナダ紙）といったタイトルの記事がメキシコ市民の目にも触れることとなりました。

メキシコは、人口1億人、国内総生産（GDP）は東南アジア諸国連合（ASEAN）10ヶ国にほぼ匹敵する規模を誇り、さらに世界最大の市場である米国に隣接する地理的優位性を有しています。

今回のミッションが、在米日系企業のさらなるビジネス・チャンスの拡大につながることを期待されます。

<参加者の声>

ミッションに参加された、商工会会員の島津幸彦氏（パイオラックス・コーポレーション社長）より、『今回参加したメキシコ・ミッションは投資環境、税務等のセミナー、実際の工場見学等、非常に有意義な内容が詰まったミッションでした。現在、メキシコでシェルターサービスを活用し生産を行っておりますが、将来のメキシコ工場拡大の検討に大いに参考となりました』とのコメントを頂いております。

ミッションにご参加いただいた方々、ありがとうございました。 成田裕介

うちの会社 《進出企業紹介》

Mirai Enterprises, Inc.

Mirai Enterprises, Inc.は、1994年3月に筆者がMarietta市において設立、その後2001年にNorcross市に移転し今日に至っております。

事業内容は：精密金属部品機械加工・プラスチック成形機用金型の補修用部品の製作・プラスチック成形後の二次工程の自動化装置の設計製作・同ロボット用チャック盤の設計製作・同成型機用安全柵の設計製作・その他、機械加工用の治具・フィクスチャの設計製作・プロトタイプ部品の客先との共同製作・小ロットの部品の機械加工などを行っております。機械設備としては：SODICK社(日)製CNCワイヤー放電加工機・SODICK社(日)製細穴加工放電加工機・MAZAK社(日)製立て型マシニングセンター・日平産業社(日)製精密油圧平面研削盤・その他立て型ボール盤、万能バンドソー、SAND BLUSTERなどの汎用工作機械。精密測定装置とし

て：MITSUTOYO(日)製PROJECTOR・同DIGIMATIC MICROSCOPE・同DIGIMATIC INDICATOR。COMPUTER：DELL社製3台COMPUTER SOFT：MASTER CAM・AUTO CAD・IMPACT CAD/CAM

以上の設備で、日米の地元客先のNEEDSに柔軟且つ迅速にお応えして頑張っております。

筆者は1968年に或る日本の総合商社の駐在員としてロサンゼルスに派遣されたのが始まりで、以来殆んど米国で仕事をし、3人の子供たちもこの国で育ててきました。米国滞在は今年で合計33年になります。この間アトランタ、シカゴ、ニューヨークの各地を順に転動しましたが、1981年から3年程住んだこのアトランタが、気候風土も穏やかで生活のコストも安く、周りの米国人もSouthern Hospitalityと言われる深い宗教心に根ざした人柄の良い人が多いことに気が付きました。また、日本人の数も程ほどでまとまりが良く、それまで住んでいた他の米国大都市と比べて非常に住みやすい土地であることが気に入りました。人生の終盤には是非この地で過ごしてみたいと考えております。

1994年に当社を設立すべく、当地に移

動する前はシカゴでSodick, Inc.という日系の放電加工機メーカーの責任者をしていました。その年、丁度55歳になったことを機会に引退し当地にやって来たという次第です。

たまたまこの時、アラバマの大学を卒業した次男が、当時の不況のため就職難でブラブラしておりましたので、これを機会にと彼をを引き入れ、最後までお世話になっていたSodick社の機械を購入設備し、Marietta市内に機械工場立ち上げたと言う訳です。

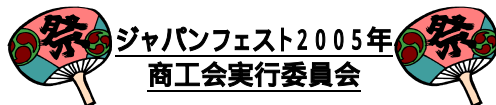
以来、少数精鋭主義で11年間頑張って今日に至りました。最近になって、会社設立以来の顧客である米系の航空宇宙企業からレーダーの電波誘導装置の中心部品の試作を受注し、その製作を完了致しました。現在は、正規部品の生産のGOを待っており、この様な重要な仕事をさせて頂ける程の信用を高められたことにつきまして感慨深いものがあります。

日米のお客様からの絶大なサポートなしには、これからの成功もあり得ません。

今後とも小廻りをきかせ、より良い仕事を継げて行く所存です。この紙面をお借りして皆様のご支援を宜しく願います。 藤井 弘和

ジャパンフェスト2005 実行委員会紹介

2005年度ジャパンフェストが、今年もストーンマウンテンのイベントエリアで9月24日(土)と25日(日)に開催される予定です。一昨年からジャパンフェストは毎年テーマを設定して開催していますが、今年度は今年2月にアトランタ市と姉妹都市関係を締結した「福岡市」をテーマに開催する事を検討しています。5月初めに日本人商工会の法人会員各位に対しジャパンフェスト実行委員会編成のお願いを致しましたが、以下のメンバーから応募が有り、5月下旬に実行委員会を発足させ活動を開始しました。今年も各メンバーの新鮮かつ斬新なアイデアを取り入れながら、来場される皆様に喜んで頂けるジャパンフェストを企画する様頑張っていきたいと思っております。以下実行委員会メンバーと各担当を紹介させていただきますので、皆様方のご協力とご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。



実行委員長: 吉田 和裕
YKK Corporation of America

担当部長: 村井 泰博
Yamaha Motor Manufacturing Corp. of America

委員
()担当、*リーダー

(日本企業紹介)

*磯部 広貴

Nippon Life Insurance Corp.

成田 裕介
JETRO, Atlanta

(日本の遊び)

*小出 豊

TOTO U.S.A., INC.

佐々木 寿道

Panasonic Automotive Sys. Co. of America

坂本 武行

Nacom Corporation

(ロジスティックス)

*相澤 卓哉

Nippon Express U.S.A., Inc.

(パザー)

*高橋 伸治

MACRO USA, INC.

山田 剛

HVB AE Power Systems Inc.

新井 千之

Yokogawa Corporation of America

(銀座)

*本岡 直樹

Kimoto Tech, Inc.

加藤 昭男

Furukawa Electric Co., Ltd.

村上 悟

Kubota Manufacturing of America

山田 幹人

Murata Electronics North America, Inc.

ジョン ロング

Datamatics Consultants, Inc.

佐藤 雅志

Toppan Interamerica Inc.

宮村 宣行

Marubeni Transport Service Corp.

山科 通照

TDK Components USA Inc.

浅利 尚道

Sompo Japan Insurance Corp.



ゴルフ・コース・レッスン 第4回

今回は、ユニシア・ステアリング・システムの岡本昌樹さんと山洋電気の谷口陽悦さんの体験記です。ストーン・マウンテンがきれいに見渡されるサウスランドでラウンドレッスンをしました。

アイアンが打てなくなって困っています。

岡本さんは商工会月例ゴルフを支えるコーディネーターです。プレーに対する情熱も素晴らしい180台目前。その大事な時期に「アイアン・ショットが力のないスライスになる」深刻な悩みを抱えました。光永プロのスイングをじっくり見て気付いたのが下半身。動きがスムーズで安定し、バタバタした動きがないことでした。どうしたら強いインパクトができるか、についてとプロに尋ねたら「トップの位置でできた捻転を崩さず、ハーフウェイダウン(シャフトが地面と平行になるポジション)までクラブを下ろし、自然にリリースをしてインパクトすることにより強いインパクトが出来ます」と答えが返ってきました。バックスイング中に下半身の動きが安定せず、インパクトの前に下半身そして腰までが左側に回り、体が開いたアウトサイド・インのスイング軌道になっていたようです。これに注意するようになって、ボールがしっかり捉まるようになってきました。(編集部注:表現の違いこそあれ、1月号の山川さんの「腰の開けない構え」に通じるものがあります)



岡本さん、光永プロ、谷口さん

ドライバーとアイアンでは、打ち方は違うのですか。

これも、誰もが関心のあるところですが、プロは、「ドライバーとアイアンでは、ティーアップのあるなし、つまり、ライ

ティーアップのあるなし、つまり、ライ（スイングの最下点とも言える）が違います。クラブ特性も違うので、打ち方のテクニックが異なるという点で、厳密には違うとも言えます。それではスイングは複雑になります。スイングは、クラブが変わっても変わらないと考えて練習するのが上達の近道です。

パターで宙に浮くボール

一方の谷口さんは、グリーン回りで貴重な体験をしました。比較的浅いラフにボールはあるが、グリーン手前は深いめのラフ。ピンまでの距離は短い。

ウェッジ・ショットではトップするのが恐い。この時、プロからパターでパンチ式にインパクトし、ボールを浮かすテクニックを学びました。パターもロフトがあるので、使いようによってはボールを浮かせることができるのです。練習して距離感をつかめれば、スコアメイクにつながります。これは使えそうです。

早く「その日のゴルフ」に気づこう

ウォーミングアップで、その日の自分の体の動き方が何となく分かる。「少し変だ、何か違う」というような時、1番ホールからドライバーを握る必要はありません。自分の好きなクラブ、得意な番手を使うことで「最初から無理をしない」ことを学びました。無理をせず、その日の自分をチェックする。「ボールと体の距離はどうか、ボールの位置が左過ぎないか、体が右向きになっていないか」。早く「その日のゴルフ」を理解し、それに対処することで、スコアの乱れを小さくできることが分かりました。

目指せPGAプロ、
夢はオーガスタ



榛葉実輝（しんばみつぎ）君は19歳。13歳でゴルフを始め、14歳から光永プロの指導を受けています。レベルの高さで知られるアトランタ・ジュニア・ゴルフ協会の大会では、参加当初（16歳）から上位入賞。昨年の総合ランキングは3位でした。

ハイスクールの4年間は、名門スターズ・ミル・ハイスクールの代表選手としてリージョン・チャンピオンシップで毎年上位に入賞。ステート・チャンピオンシップ（16校参加、個人参加者も含め選手は約

100人）にも毎年クオリファイしました。



榛葉実輝 1986年5月27日生まれ
得意クラブはロブ・ウェッジ（60度）

ハイスクール・シニアの今年は、母校を第5位に導く牽引者として活躍、個人成績でも77・74のスコアで第9位に輝きました。

実輝君のお父様の和也氏（ネイコム・コーポレーション）によると、ステート・チャンピオンシップに参加している日本人は実輝君だけだそうです。

タイガー・ウッズの活躍に憧れてゴルフを始めた実輝君の目標は、ズバリ「PGAツアープレーヤーになり、マスターズで優勝すること」です。サウスウインドは、当地日本人コミュニティーの若い力、実輝君の活躍をフォローしていきます。



第29回日米南東部会 開催概要決定

第29回日米南東部会の開催概要が発表となりました。

今回は、10月16日（日）～18日（月）、東京のホテルニューオータニで行なわれます。

南東部会発足から30年

1975年3月、日本政府派遣訪米経済使節団が米国南東部に派遣された際、日本側ミッションから「日本と米国南東部諸州との経済交流促進の重要性」が指摘されました。これを受け、米国側ではジョージア州の故ジョージ・バスビー知事が中心となり、米国南東部諸州の結束を固め、経済交流促進の機運が高まりました。

この結果、日本と米国南東部諸州が年1回交互に合同会議を開催する日米南東部

会が設立される運びとなりました。

現在、日米南東部会には、97の日本企業が会員となって活動しています。

分科会テーマに「米国南東部から日本への投資」

10月16日の日曜日は、恒例の日米親善ゴルフ大会、東京、箱根、鎌倉探訪ツアーが実施されます。東京ツアーでは、地下鉄を乗り継いで名所を回るという新しい試みが注目されます。

17日（月）は、日本側の西室泰三議長並びにグレン・コーネル議長（ジョージア）によるオープニング、各州代表によるメッセージの交換に続き、全体会議でデービッド・アブニーUPSインターナショナル社長及び石原東京都知事（予定）が演壇に立ちます。

分科会では、貿易、米国南東部への日本の投資、日米観光交流というテーマに加え、新しいテーマとして「米国南東部から日本への投資」が独立して取り上げられたことが目を引きまします。

18日（火）には、トヨタの張富士夫社長が全体会議でスピーチをした後、日米技術交流をテーマとしたディスカッションが行なわれます。

南東部は米国の成長センター

南東部7州（アラバマ、ジョージア、フロリダ、ノースカロライナ、サウスカロライナ、テネシー、バージニア）は人口で全米の約20%（2003年）、経済規模で同17%（2001年）を占めています。

人口、経済規模ともに全米屈指の成長を遂げている地域です。

また、南東部7州に所在する日系製造業の数は399社（2003年）で、全米全体の20%を超える規模となっています。

過去10年間で7州の日系製造業の数は30%近い伸びとなっていますが、これは全米全体の伸びの2倍に近い数字です。

ジョージア州は、7州に所在する日系製造業の3割近くが立地する南東部最大の拠点です。ジョージア州政府の調査によると、州内に立地する外資系製造業の数は576で、日本が110とほぼ2割を占め最大です。次いで英国の92、フランスの89、ドイツの78と欧州の製造業が続き、カナダが42となっています。

製造業に関しては、これら上位5カ国の企業で、ジョージア全体の外資系製造業の数の7割以上を占めています。

第29回日米南東部会の様子は、サウスウインド11月号でご報告します。

4. プランテーション経済の崩壊と南部
(4) 第二次世界大戦後の南部(その1)

前回まで数回にわたり、(1)1920年代に始まった南部プランテーション経済崩壊が、1930年代の大恐慌勃発により一層促進されたされた、(2)フランクリン・ルーズベルト政権によるニューディール政策の推進は、南北戦争終了後の再建時代以来初の本格的な連邦予算の対南部投下をもたらしたが、南部における貧困の蔓延は解消されず、北部資本の国内植民地としての南部に大きな変化は見られなかった、(3)しかし、第二次世界大戦勃発による米国の戦時経済成立により大幅な軍事予算増額が行われ、かかる軍事支出を中心とする連邦予算支出の急増により、多数の軍事基地、軍事教育・訓練施設、軍関連の病院等が南部に建設されたのみならず、海軍艦船建造、軍用航空機製造、石油・石油化学製品製造等の高付加価値製造業の南部進出が促され、(4)このような軍関連施設と軍需関連産業の南部における急速な成長は、南部の経済構造に大きな変動をもたらした、特に農業雇用の減少と、それを吸収する形での非農業雇用の急速な成長が見られ、(5)プランテーション経済崩壊の更なる進行により、南部はプランテーション経済からの脱却の歩みを速めていくことになった、という点を述べた。

なお、上述に補足を加えると、(3)の軍事支出の大幅な増額の相当部分が南部へ投下された大きな理由の一つは、南部独特の政治体制にあったと言われている。新しい州憲法の制定と黒人市民を有権者に含めた男子普通選挙(但し南部の戦争指導者等は公民権剥奪中)による新政権(通常は北軍をバックにした共和党政権)の誕生により、旧南部同盟国諸州が連邦に再加入を許されると、北軍は南部占領を終結し再建時代が終了した(最後の北軍が南部を去ったのは1877年)。その後、南部各州の共和党政権は続々と崩壊し、代わってプランテーション所有者と都市部の商工業者の連合体である南部支配階級の利益代表として、南部民主党が政権を握り、長年にわたり(例えばジョージア州では21世紀初頭まで)州政治を壟断することになる。これ以降比較的最近まで、南部では、共和党は実質的に存在しないも同然であり、民主党内の予備選挙の結果がそのまま本選挙の結果となるのが通常であり、民主党の公認候補になれない不満分子が無所属

皆さんはバラに対してどのようなイメージを持っておられますか? 「女性へのちょっと気障なプレゼント」「刺があって近寄り難い」「病気が多くて育て難い」等々。実は、数年前までは、私にとってもバラは単なる花の一種でしかありませんでした。しかし、バラの花に興味を持った妻の「歳が行っても一緒に楽しめるバラを育ててみない?」という一言から、私のバラへの関わりが始まったのです。

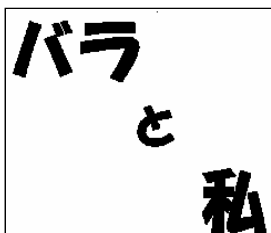
バラの歴史は古く、5,000年前の古代文明の頃から栽培されていたと言われてい
ます。その後、気が遠くなるような時間をかけて人工交配が重ねられ、現在では25,000種以上のバラが育成されているそうです。私は、自分を運動部系だと思っていましたし、今まで植物に興味を持ったことも無かったのですが、このように綿々と人々を魅了し続けてきたバラのことを知るにつれ、徐々に面白さが分かってきました。

我が家の品種名付きのバラは3本からスタートしました。最初は鉢植えで細々と育てていましたが、それも物足りなくなり、庭全体をバラに合わせて造園して、花壇、アーチ、パーゴラ、オベリスクを設置しました。バラを育て始めた頃は、ハイブリッド・ティー(四季咲き大輪系)、フロリバンダ(四季咲き中輪系)を中心に植えましたが、その後、イングリッシュローズの優しい花の形に魅せられて色々な種類を買い込み、今では我が家の庭は50種類程度のバラで一杯になっています。

バラの育成は難しいと言われる。確かに、黒点病、うどん粉病等の病気にかか

ることもありますし、施肥のタイミングや適切な剪定の方法等、覚えるべきことが多いです。しかし、難しいからこそ、思い通りに見事な花が咲いた時の喜びは例えようがありません。また、元気な花を毎年咲かせるために、冬季に冬剪定というかなり深い剪定を行います。この冬剪定により、私の気持ちがりセットされると共に、春になると何も無い短い枝からすくすくと若い芽が伸びてきて、植物の躍動感を感じることができます。

毎年、5月から6月にかけてバラが咲く季節になると、妻と一緒に各地のバラ園に出かけ、有名なバラや希少なバラを鑑賞して楽しめます。このように、二人で楽しい時間を過ごすことができるようになったのは、バラという共通の趣味のおかげです。そんな私も去



年のバラの季節の後、アトランタに単身赴任しました。残った妻は、仕事にバラの世話にと大忙しで疲れ気味の様子でしたが、春が訪れバラの葉が茂って庭全体が緑一色になってくると、その緑に癒されて元気になってきたようです。5月に入って、我が家のバラも綺麗に咲き始めました。妻が新たに咲いたバラを写真に撮り、毎日のようにメールで送ってくれます。私たちは離れていても、バラが私たちに共通の話題を与えてくれるようです。Kawasaki Construction Machinery Corp. of America / 橋本 隆浩

今回はYokogawa Trading USA, Inc.の新井千之さんです。

(Independent)として本選挙に立候補する程度であった。しかも、かかる無所属候補者が仮に当選したとしても、当選後は民主党に(再)入党するのが通例であり、かつて日本の55年体制下の保守王国と言われた地方の自民党と保守系無所属との関係にも似た、保守政党による一党独裁体制が構築された。更に、1880年代末から1890年代にかけて、南部諸州ではJim Crow lawsと呼ばれる、公立学校を含む公共施設での人種的分離を規定し、参政権を含む黒人市民の(そして相当数の白人貧困層の)公民権を剥奪する諸法制が成立する(かかる諸法制は、1896年に連邦最高裁判所のPlessy v. Ferguson判決で、“Separate but equal”の名の下に合憲として追認される)。これによって、南部諸州の政治は、民主主義とは名ばかりの、

白人長老議員とその谷町たちによるボス政治が横行することになり、無風選挙による多選も珍しくなくなかった。皮肉にも、このような非民主的な政治プロセスの中で当選・多選を果たしてきた南部諸州選出の連邦議員は、年功序列制(Seniority)が厳格に執行されていた当時の連邦議会において、重要な委員会の委員長や上席委員を務めることになる。当然のことながら、かかる南部選出長老議員は地元への利益誘導を図り、上述の軍事支出を中心とした連邦予算の対南部支出に大きく寄与した。ほんの一例を挙げれば、ジョージア州選出の連邦下院議員であったCarl Vinson(第一次世界大戦の始まった1914年から50年余りにわたり26回連続当選)は、1931年下院海軍委員会(the House Naval Affairs Committee)

委員長に就任し、1947年に陸軍関連事項を管轄していた当時の下院軍事委員会 (the House Military Affairs Committee) と海軍委員会が統合され、新しい下院軍事委員会 (the House Armed Services Committee) が創設されると、その委員長に就任し、引退まで、途中民主党が少数等に転落した4年間を除きこの職を務めた。彼の業績、ましてや地元への利益誘導実績につき詳述する紙数の余裕は無いが、米国海軍が建造した3隻目の原子力空母に彼の名前が冠されていること、そして、ジョージア州内にあるVA (Veterans Administration: 退役軍人局) Hospitalの一つに、彼の名前が冠されていることで、彼の業績、そして影響力は明らかであろう。

上述の南部経済の構造的変動は、第二次世界大戦終了後も継続される。しかし、1930年代の大恐慌による世界資本主義の未曾有の危機への対処法であった、行政府を肥大化させて、その支出によって「皆(主に帝国主義国家の本国人が飯を食える)」ようにする様々な社会主義体制(スターリン主義的一国社会主義体制、「八紘一宇」による大東亜共栄圏的「社会主義」、植民地を束ねてブロック経済を形成する英連邦的「社会主義」、資本主義を救うための「社会主義」であるニューディール体制等々)は、時に形を変えつつ継続される。米国の場合、第二次世界大戦終了直前に、ルーズベルト大統領は第4期目の任期を全うせずに死去するが、後任のトルーマンも、その政治基盤は1980年代初頭に崩壊するまで続いたニューディール連合に依拠しており、経済政策では大恐慌及び戦時経済体制下におけるほどの連邦支出ではないにしろ、冷戦下の軍産複合体形成に資する支出を継続する(その後のアイゼンハワー共和党政権も対ソ連・共産圏政策を理由にこれを継続)。ニューディール政策は、極めて大雑把な言い方をすれば、最も生産力があり納税額の大きい北部(北東部・中西部諸州)の富を連邦政府が税金として吸い上げ、これを後進地帯である他の地域にばら撒いてやる体制である。これが第二次世界大戦終了後も形を変えて維持されることになり、上述長老議員の「活躍」もあり、南部諸州が、この体制の最大の受益者となって、徐々に他地域とのギャップを埋めていくことになる。

しかし、かかる経済発展は社会構造の変動、特に労働力の流動性を惹起し、19世紀末期に成立した、黒人市民の参政権剥奪を含む南部の法的人種分離体制の維持を困難にした。南部選出長老議員たちは、対南部連邦予算支出を勝ち取り、南部の

産業発展に資する諸政策を推進した。しかしその一方で、工業化による南部の経済発展が必然的にもたらす労働力の流動化による南部人種体制の崩壊を、必死に喰い止めようとした。二律背反の二兎を獲得せんとする虫のよい欲求に基づいた、滑稽にすら見えるこのような政治行動を、南部選出連邦議員は1960年代まで取り続けることになる。(以下次回)

お知らせ & 生活情報

企業・人事往来

商工会新入会員紹介(よろしく)

(法人)
GS Battery (U.S.A.) Inc.
1000 Mansell Exchange West
Suite 350
Alpharetta, GA 30022
Tel: (678) 762-4818
Fax: (678) 739-2133
代表者: 阿部 貴志 Takashi Abe

(個人)
梅井 晋 Shin Umei
Toshiba America Electronic Components, Inc.
3700 Crestwood Parkway
Suite 1070
Duluth, GA 30096
Tel: (770) 931-6936
Fax: (770) 931-7602

【カレンダー】

2005年

- 6/19 (日) JETRO・ビジネス日本語能力テスト
- 6/25 (土) 終業式
- 8/6 (土) 始業式
- 9/24・25 (土・日) JapanFest 2005
- 10/24 (日) 商工会ノソフトボール大会

JapanFest 2005

ジャパンフェスト前売りパッケージのご案内

ジャパンフェストでは前売りチケットパッケージを販売しております。ジャパンフェスト website (www.japanfest.org) にてお申し込みが出来ますので是非この機会にお求め下さい。

ジャパンフェストボランティア募集のお願い

ジャパンフェストでは9月24・25日にストーンマウンテンでお手伝いをして頂けるイベント・スタッフを募集しております。ジャパンフェストの規模を考えますとよりたくさんの方に参加して頂きたいと望んでおります。以前は各支部長や商工会役員からスタッフ募集に関する連絡をしておりましたが、昨年度からジャパンフェストのウェブサイトにて一般公募を承っております。我こそはと思われる方、ジャパンフェストホームページより是非ご登録下さい。また、身の回りで興味を持っている方をご存知の場合は是非お誘い合わせの上ご参加頂ければと思います。

中村 紘子さんピアノリサイタルのご案内

7月24日 16:00より
主催 Columbus State University
Schwob School of Music
場所 RiverCenter 's Legacy Hall,
Columbus Georgia
チケット \$30及び\$25
チケットお問合せは706-256-3632まで

* SouthWind 編集委員 *

酒谷 陽右	坪井 広海
松田 俊紀	成田 裕介
ハリソン 陽子	山岡 寛和
ヤング 泰子	

編集後記

数日前某君との会話の中で、何気なく「字引き」という言葉を使ったら、「『字引き』とは、随分古いですね〜。」と云われてしまった。家に帰って早速Yahoo Japanで検索してみたところ、(「字引き: 国語辞書検索で該当する情報はありません。)"との解答。地曳き、地弾きなどという見当違いな言葉は、遠慮なく出てくるのだが。さらに詳しく「字引」で検索したところ(辞典、辞書と同じ。生き字引。字引学問。)とある。辛うじて生き字引という表現の中でのみ生き延び、死語に近いことを発見し、しばし沈黙。突如わけの分からない憂鬱が全身に広がり冷や汗をかく。自分も最後の糸にすがりついて生き延びているのではなからうか。「今日酒あれば、今日酒を飲み、明日愁い来れば、明日愁う。」の心境になるのも無理からぬことなのだろう。

坪井広海

AD

South Wind

The Newsletter for Japanese Business in Georgia

2005年 6月号 Vol. XIX No. 3

発行人 定塚 皓
投稿、広告の
お問い合わせ先：

編集人 山岡 寛和
購読料：年間30ドル

Japanese Chamber of Commerce of Georgia, Inc.

245 Peachtree Ctr. Ave.
Suite 2201
Atlanta, GA 30303
Tel: (404) 522-0122
Fax: (404) 522-7524

Address Correction Requested

TO: